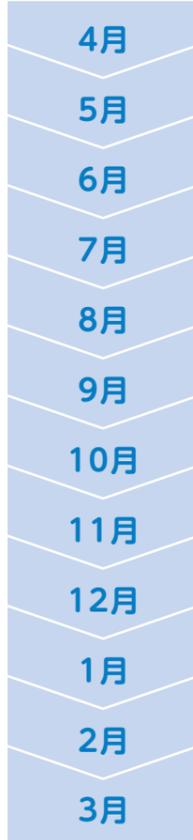


消防団員の活動は災害発生時だけではなく、普段から災害に備え、地域での訓練や防災への啓発活動も行っています。

- 4月 辞令交付式  
初任者研修・幹部研修
- 7月 甲賀広域消防夏期訓練
- 8月 滋賀県消防操法訓練大会出場
- 9月 滋賀県総合防災訓練
- 11月 秋季火災予防運動  
(火災防ぎょ訓練、防火パレード、予防啓発等)  
市総合防災訓練
- 1月 消防出初式



年間を通して地域での防災訓練などへの参加や啓発活動



▲水害を想定した土のう作成訓練

●10月 滋賀県消防大会  
消防学校教育

●12月 年末特別警戒

●3月 春季火災予防運動  
(火災防ぎょ訓練、防火パレード、予防啓発等)

## 甲賀市消防団 支援団員 令和3年度から スタートしています!

支援団員とは、恒常的に活動する基本団員とは違い、入団資格や活動内容を限定した「**機能別消防団員**」です。入団資格は消防団経験が5年以上あり、地元に住居し即座に災害出動が可能な方等を対象としています。

支援団員制度は社会情勢の変化に伴う災害への即時対応力が低下している状況を改善し、将来においても組織体制を維持するため、今後も制度の拡充を進めていきます。



▲新たに活動される支援団員への任命式

●問合せ：危機管理課防災危機管理係  
(Tel) 69-2103 (Fax) 63-4619

## 女性消防隊も活動中!

甲賀市消防団では、男性だけでなく女性も女性消防隊として、防火・防災啓発活動、応急手当指導を中心に市内全域を対象として活動しています。(火災現場への出動はありません。)

女性消防隊では、市内の地域や団体、学校などから依頼をいただき、防火・防災啓発(防災クイズ・防災啓発劇など)や応急手当・救命講習指導を行っています。また、火災予防運動期間中などは学習車両で市内を巡回し火災予防の呼びかけを実施しています。

皆様と一緒に学び、楽しくわかりやすい活動をめざしています。現在では団員が少なくなっているため、興味のある方は、ぜひ一度見学にお越しください。



みんなで楽しく活動しています!

## 「消防団員〇〇さんの二刀流!」

Vol.1 自分も成長、周囲へも防災意識を広めたい  
谷口 奈菜 さん

Q 消防団員に入ろうとしたきっかけは?

高校の時に消防署の方に来ていただき救急救命講習を受講し、こんな短時間で身に付けられることに驚いたことがきっかけです。

たまたま知人の女性の方が地域で消防活動をされていることをSNSで見て、市にも女性消防隊があることを知りました。

私は甲賀市で働いていて仕事を通じて女性消防隊に入っている知人とのつながりで同隊に入団しました。

Q お仕事との両立は大変ではないですか?

女性消防隊は救命講習や防災啓発、防災訓練への参加などが主な活動です。

私は普段、観光事務の仕事をしていて、旅行業にも携わっているので、時より忍者に変身し甲賀市をPRする仕事にも携わっています。

周りにおられる消防団員の方も普段は仕事をしながら、団活動をされているので、両立は大変だというイメージは初めからありませんでした。自分のできる範囲で活動をしています。



お仕事の時は忍者姿へ



消防団として活動服へ

Q 消防団員をしていて良かったと思うことは?

自然と自身の防災知識も増え、人にも教えることもできるので少しでも多くの方がいざという時に備えられる方が増えれば良いなと思っています。

もし目の前で人が倒れたときなども、慌てることなく安全に対応できるのではないかと思います。

女性消防隊は現在10人、団員どうしのつながりを大切に、楽しく防災を広めていければ良いなと考えています。活動は自分のためにもなり、周りにも広めていく仕事です。

私たちの活動を見ていただくこともできますので、気軽に見学に来てくださいね。

団員が一人でも多くの方の防災意識を高めることができれば嬉しいです。

谷口奈菜さんの二刀流

変身

## 甲賀流!

# 消防団充実強化術

少子高齢化や就業形態の変化などの影響で、地域防災力の中核的役割を担う消防団員が、全国的に減少しています。このことに歯止めをかけるため、今後もさまざまな取り組みを進めます。

### 一、消防団への理解促進!

- 消防団の存在意義や役割を伝え、消防団員にやりがいを持っていただけるよう広報展開(今月号から隔月で掲載予定)
- 消防団協力事業所制度の普及促進

### 二、幅広い住民の入団促進!

- 入団しやすい環境の整備として、市ホームページにオンライン入団フォームを開設
- 将来の担い手育成のためのアプローチ(小中、高校等への出前講座など)
- 退団抑止策として、遠方への転勤や介護・育児などで一時的に団活動をするこ



入団フォーム

### 三、日頃の消防団活動のあり方見直し!

- 地域の実態に即した災害現場で役立つ訓練の実施についての検討
- ポンプ操法について、消防技能の習得といった本来の意義や目的を踏まえた適切な取組みを検討(分団ヒアリングの結果や卓大会の実施要領を踏まえ検討)

### 四、装備等の充実!

- 地域防災力を維持しつつ団員の負担を軽減・均一化する車両の配置や更新計画の検討
- 安全装備品の充実
- その他他団活動の効率化を図る装備品の拡充